

業績・財務ハイライト

当第2四半期の業績について

堅調な受注環境の下、業績は国内外ともに好調に推移。
売上高・各段階利益全てにおいて期初計画を上回る水準で着地。

※ 当期(2017年12月期)は事業年度変更の経過期間となり、連結対象期間が変則的であるため、対前年同期比増減率は記載していません。

売上高

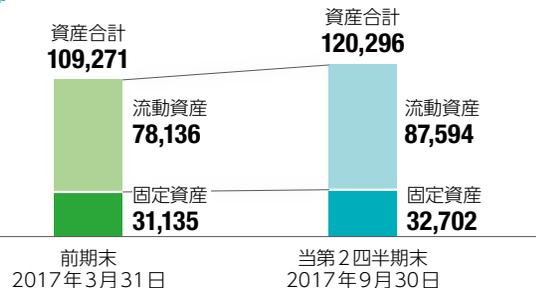
424億8百万円

営業利益

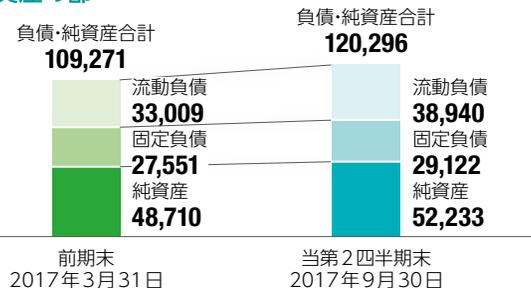
42億6百万円

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

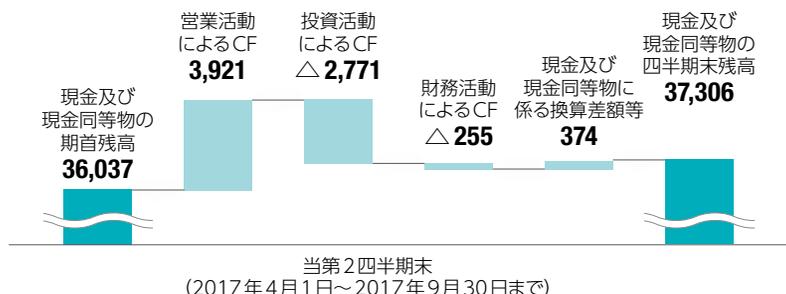
資産の部



負債・純資産の部



連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要 (単位:百万円)



POINT B/S:受注台数増加に伴い、売上債権、たな卸資産が増加したほか、物流センター、アメリカの新社屋など固定資産の増加により、総資産は前期末比で大幅に増加(前期末比+110億25百万円)。ネット有利子負債は28億53百万円まで減少しました。

POINT 営業CFは売上債権、たな卸資産が大幅に増加したものの、工作機械、産業機械事業の収益改善等により39億21百万円のプラス、投資CFは有形固定資産の取得、関係会社株式の取得等により27億71百万円のマイナス、財務CFは借入金の返済等により2億55百万円のマイナスとなり、現金及び現金同等物の同四半期末残高は373億6百万円となりました(前期末比+12億69百万円)。

IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧になれます
http://www.sodick.co.jp/ir_note.html

ソディックIR

検索

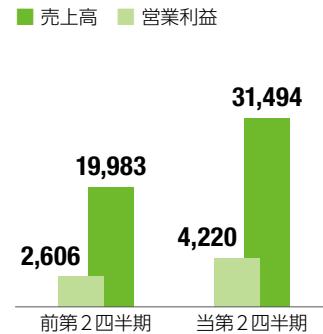


セグメント別の概況 (単位:百万円)



国内外ともに、自動車、スマートフォン関連を中心として、需要が総じて堅調。

国内では、3月に採択された補助金に係る受注が売上増加に寄与したほか、自動車、スマートフォン関連からの受注が堅調となりました。海外では、北米で自動車、航空宇宙、医療機器関連の需要に一服感が見られたものの、欧州では、ドイツ、イギリス、イタリアを中心に自動車、航空宇宙関連を中心に堅調に推移しました。中国では、ものづくりの高度化や自動化対応、中国政府の補助金政策の影響もあり、自動車関連やスマートフォン関連を中心に高水準な受注、販売が継続しています。アジア地域では、タイマレーシアを中心に自動車関連の需要が拡大基調にあるほか、韓国でも半導体やスマートフォン関連からの需要が見られました。



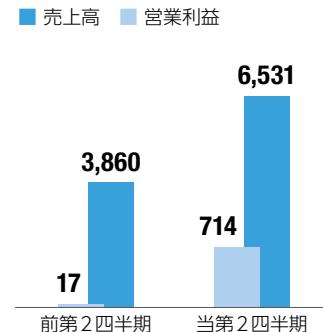
売上高 **31,494**百万円

営業利益 **4,220**百万円



国内の旺盛な需要に加え、中国・アジアからの需要も好調。北米も持ち直しの動き。

国内では車載用部品、スマートフォン用光学レンズ等高付加価値部品向けの需要が旺盛だったほか、自動車用大型部品向けに大型成形機の需要も見られました。海外では、北米で医療機器・自動車関連の需要は持ち直しの動きが見られ、中国、アジア地域では、スマートフォン及び車載カメラ用光学レンズの成形や防水対応用シリコン成形の需要が好調に推移しました。



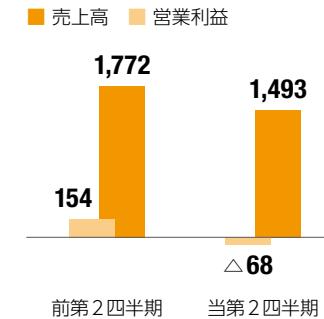
売上高 **6,531**百万円

営業利益 **714**百万円



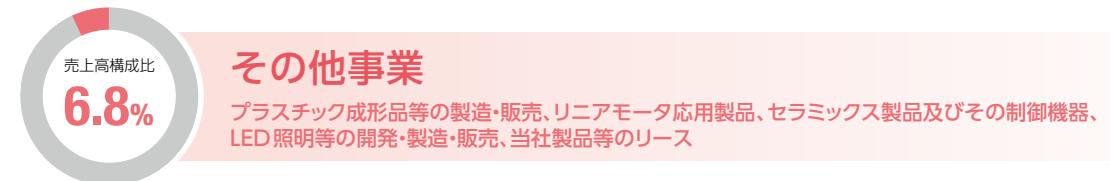
継続した需要により、受注及び納入は計画通りに推移するが、検収が下期にずれ込み、業績は下振れ。

国内では、コンビニエンスストア等及び外食チェーン店向けを中心に、高品質な調理麺の製造設備が引き続き堅調。健康志向の高まりによる豆腐麺等ユニークな麺製造や米飯の炊飯装置への需要も見られました。海外でも、ロングライフ麺や米飯の炊飯装置等への需要が見られました。受注及び納入は概ね計画通り順調でしたが、平均単価が比較的大きい当事業において、複数の案件で検収が3Q以降にずれ込んだため、売上高は通期計画に対して低調となりました。新製品の立ち上げコストがかさみ、営業利益は68百万円の赤字となりました。

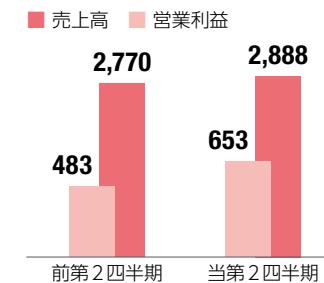


売上高 **1,493**百万円

営業利益 **△68**百万円



精密金型・精密成形事業は、引き続き自動車関連から旺盛な需要があったほか、活況な半導体装置向けにセラミックスの販売も堅調に推移しました。



売上高 **2,888**百万円

営業利益 **653**百万円

IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧になれます
http://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html

ソディックIR

検索

